

3 日本が誇る世界遺産等を次世代に引き継ぐための支援

世界遺産として登録されている「古都京都の文化財」17件（宇治市、大津市の3件を含む）の社寺・城のほか、世界遺産に匹敵する価値を有する数多くの文化資産を、人類共通の財産として守り、育て、次世代に引き継ぐため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 世界遺産をはじめ文化遺産を保存・活用するための財政支援及び税制優遇の拡充
- (2) 世界遺産とそのバッファゾーンを一体的に保全するための体制整備、及び特別法の制定
- (3) 「和装」、「華道」、「茶道」、「庭園文化」、「香道」、「書道」、「盆栽」等のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援

世界遺産をはじめとした文化遺産を保存・活用するための財政支援等の拡充

京都市内には、世界遺産「古都京都の文化財」を構成する14件の社寺・城や、世界遺産に匹敵する価値を有する数多くの文化遺産が存在

3,000件を超える文化財の宝庫

例えば・・・

【有形文化財】

国宝	211件	(全国比 19.2%)
重要文化財	1,874件	(全国比 14.3%)
国登録文化財	356件	
市指定・登録文化財	338件	
府指定・登録文化財	153件	

【無形文化財】

国宝	10件
府指定文化財	9件

～京都市独自の取組～

- ・市指定文化財を対象に、修理費を助成
- ・市内の多彩な有形・無形の文化遺産を選定
(京都を彩る建物や庭園、京都をつなぐ無形文化遺産)

まち・ひと・こころが 織り成す京都遺産

京都の文化遺産をテーマごとにまとめ、地域性、歴史性、物語性をもった集合体として認定



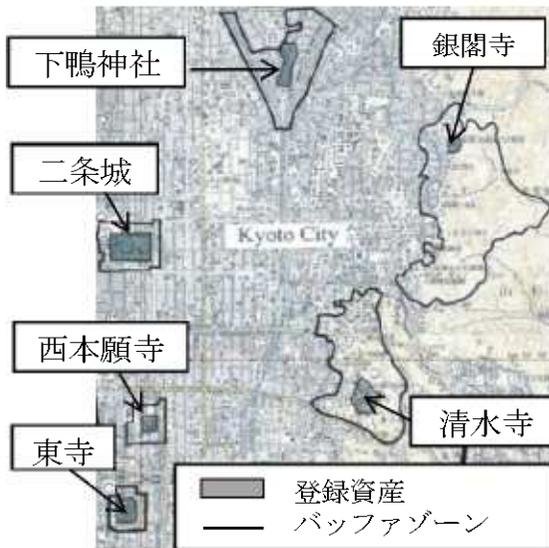
「庭園文化」 無鄰菴庭園

文化遺産の維持・継承・活用が課題！
そのためにも、

- ① 指定・登録以外の文化財に対する相続税などの税制優遇の拡充
- ② 文化財を次世代に引き継ぐための修理・整備・公開に対する財政支援の拡充

が必要！

世界遺産とそのバッファゾーンを一体的に保全するための体制整備, 及び特別法の制定



現状

- 世界遺産の周辺に、広範囲のバッファゾーンを設定
- 京都市では、都市計画法、景観法、古都保存法のほか、市独自の取組である眺望景観創生条例等も活用し、全国でも類のない厳しい景観規制を実施
- 世界遺産を含む京都の景観上重要な寺社等と、その周辺の歴史的景観を保全するための独自施策を検討中

課題

- 昨今、バッファゾーン内では、市の景観規制以上の景観への配慮が求められる傾向があるが、世界遺産のコアゾーンと異なり、国策としての規制や支援等がないため、現行制度以上の制限を課すことに限界がある
- 国策として、世界遺産と共にその周辺市街地の魅力を向上させる政策が必要

世界遺産と一体的にバッファゾーンの魅力を向上させるため、

- ① バッファゾーンの保全を、文化庁地域文化創生本部が調査研究を行う「新たな政策課題」と位置付け、保全に資する制度や施策について検討を行い、
- ② バッファゾーンの在り方や特別法の制定、更には、財政的な支援制度の創設について、国策としての取組が必要！